

せんだい・みやぎソーシャルハブ

せんだい・みやぎソーシャルハブは、NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター、一般社団法人パーソナルサポートセンター、NPO法人都市デザインワークスの三団体が連携して運営しています。

☎ 022-264-1281

✉ hub@minmin.org

🌐 <https://semi-hub.org/>



Web



Facebook



no+e



まちのこれからを「ともに考え、ともに作る」

せんだい・みやぎ ソーシャルハブ



2024.03

Supported by

THE NIPPON
FOUNDATION

あなたの一步を ここから

「いつか社会や地域のために協力したい」と思っているも、
何から始めていいかわからない。

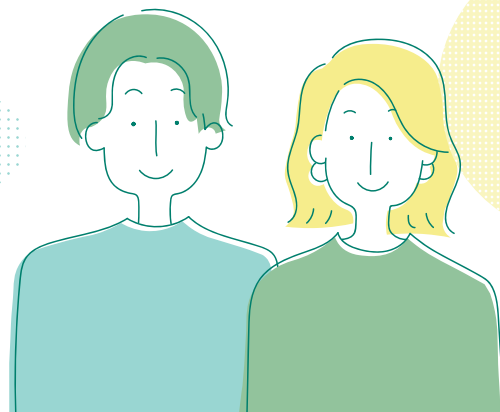
本業との合間で社会や地域に貢献できたら…

せんだい・みやぎソーシャルハブは、
一人ひとりが気づいたまちの問題を取り上げ、
さまざまな人たちが、ともに協力・解決するための場をつくりたいと願い、活動しています。

仕事を通じて培った経験や視点は、あなたにとっては当たり前に行えることでも、
誰かにとっては宝になることもあります。

あなたにとっても新しい発見が生まれ、経験がさらに豊かになるかもしれません。

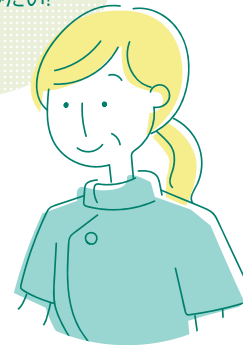
まずは一步を踏み出し、できることから始めて、
誰かの笑顔につなげてみませんか？



やっぱり
ふるさとが好き!
何か
できないかな?



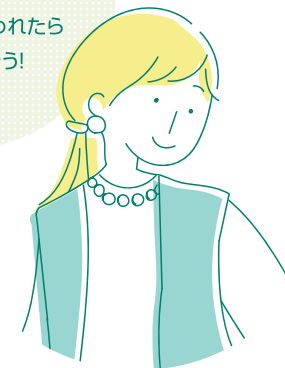
普段仕事では
知り合えない
人たちと
つながってみたい!



仕事以外で
社員が経験を積める
場はないかな?



まちづくりに
興味がある人が
会社に何人かいる。
グループで関わったら
おもしろそう!



企画書や提案書を
まとめるのが得意!
この経験を
活かせないかな?



自分の時間を
最近持てるように
なってきたし、
副業にチャレンジ
してみようかな?

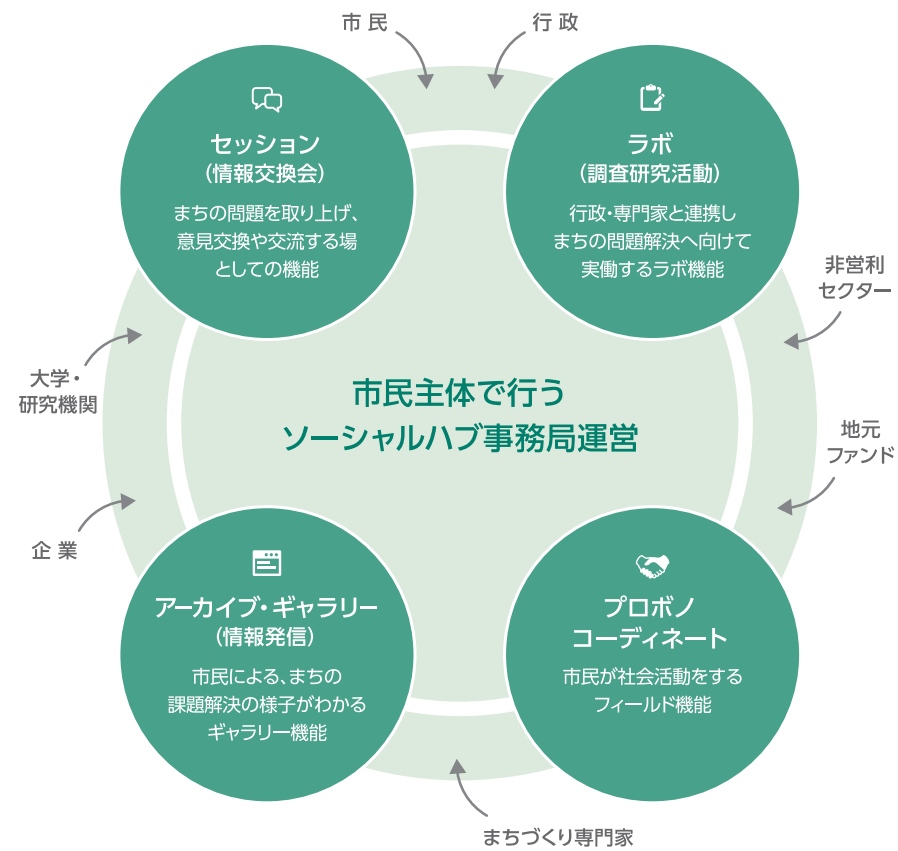


わたしたちについて

せんだい・みやぎソーシャルハブとは

せんだい・みやぎソーシャルハブは、一人ひとりが気づいたまちの問題を取り上げ、市民・NPO・企業・行政など、さまざまな団体や人が力を合わせ、ともに解決していく場づくりをしています。

一人ひとりがまちの問題を発信できる社会にしたい、楽しんで関われる場をつくりたい、そんな思いを胸に、2020年からスタートし、仙台・宮城を中心に活動しています。2030年を一つの目標とし、多セクターをつなぐ「ハブ」をめざします。



2030年に向けた事業活動目標図

主な4つの活動

現在、「セッション(情報交換会)」、「ラボ(調査研究活動)」、「アーカイブ・ギャラリー(情報発信)」、「プロボノコーディネート」は下記の内容を中心に活動しています。

🗨️ セッション (情報交換会)

セッションは、月1回程度、すでに課題解決のために活動している人が集まり情報収集や相談、連携が生まれる場として開いています。また、仙台・宮城の社会課題を取り上げ、テーマに関するゲストを招いて話題提供をしていただき、参加者のみなさんと一緒に課題解決に向けた意見交換やアイデア出しを行うこともあります。



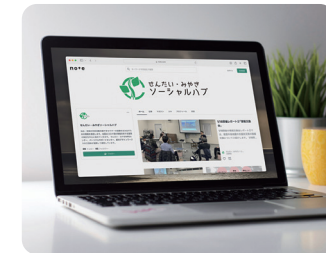
🔍 ラボ (調査研究活動)

ラボは、セッションで取り上げたテーマ等をさらに深掘し、実践を検討するための有志による調査研究活動です。ラボとは別に、企業に対する「社会貢献に関するアンケート」を実施する等、市民活動や社会貢献活動に関する調査研究活動も行っています。



📄 アーカイブ・ギャラリー (情報発信)

セッションやラボに参加していない人でも自身の社会課題解決の糸口をみつけられるよう、これまでの内容を理解・共有できるようにしています。現在は、WebサイトやFacebookのグループページで日々の情報共有やnoteでセッションの様子などをレポートし、情報を蓄積・発信しています。



🤝 プロボノコーディネート

仙台・宮城の地域や団体の課題を解決するために、プロボノ(ボランティアや副業による社会貢献活動)として携わってくれる人を募集・コーディネートしています。プロボノを導入したい団体からの相談も受け付けています。

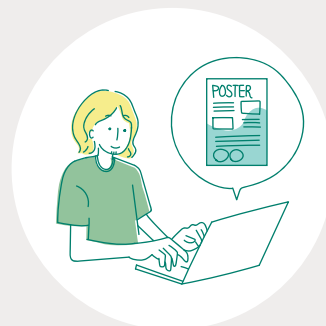


プロボノに参加してみよう

プロボノとは

プロボノとは、自身の経験や知識を活かして、ボランティア活動や副業として社会貢献活動に携わることを指します。もともとはアメリカで広まった活動ですが、日本でも、本業の合間を利用し、社会やまちの課題解決のために力を貸す方が増えています。最近では、オンラインで参加できる内容もあります。

例えば、広報に力を入れたい団体に、広報経験を活かし広報戦略の立案やSNS発信のお手伝いをしたり、人材育成に取り組みたい団体に、人事経験を活かし人材育成プログラム作成や人事評価制度整備のお手伝いをするなど、プロボノには、さまざまな関わり方があります。



デザインの知識を活かし
イベントのチラシを作る



企画提案の知識を活かし
事業計画と一緒に立案する

プロボノはそんなに難しくない

プロボノは、みなさんが考えているよりもずっと気軽に参加していただけます。

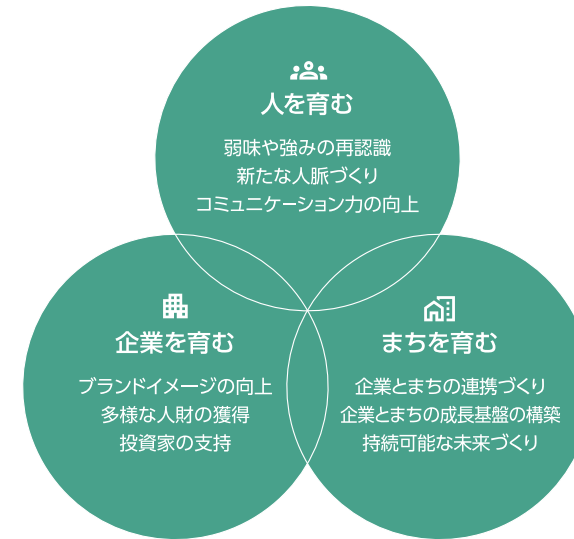
あなたにとっては当たり前でできることや考え方も、団体にとっては、それがとても斬新で貴重なものに映るかもしれません。あなたの経験や知識が、団体の取り組みをスムーズに進めるきっかけになることもあります。ぜひ、ご自身の経験や知識を活かしてプロボノに参加してみませんか？

こんな方におすすめです！

- ◎ ボランティアをやってみたい
- ◎ 自分のアイデアでまちに貢献したい
- ◎ 副業に興味がある
- ◎ まちづくりに参加したい
- ◎ 経験を活かしたい
- ◎ ふるさとが好き

企業の皆さまへ 社員がプロボノとして参加するメリット

最近では、社会貢献活動の一環として社員のプロボノ活動を推奨するケースも増えてきており、次のようなメリットが一例としてあげられます。



人を育む

プロボノの参加は、社員にとって重要な成長の機会となります。

普段とは別の視点で物事を見て課題解決に取り組むため、自分の弱みや強みを再認識し、新しいアプローチの仕方や考え方を身に付けるなど豊かな学びと経験につながります。また、異なるバックグラウンドや専門知識を持つ人々との交流で、新たな人脈づくりや、コミュニケーション力を養うことができます。

企業とまちを育む

プロボノに参加した社員が活躍し始めることで、企業にとって新たな変化の機会となります。

まちの課題と結びつけた提案や事業が増えることで、まちとの連携が深まります。さらに、ともに成長する基盤が築かれると同時に、持続可能な未来づくりにもつながります。また、プロボノ活動を通じて企業のブランドイメージが向上し、多様な人財の獲得や、投資家の支持を引き寄せる可能性も高まります。これを機に、社員がプロボノとして活動しやすい環境について考えてみませんか？

プロボノとして携わってくれる方を募集しています

せんだい・みやぎソーシャルハブでは、プロボノとして携わってくれる方を募集し、コーディネートしています。また、社員のプロボノ活動を推奨したい企業や、プロボノを導入したい団体からの相談も随時受け付けています。お気軽にホームページからお問い合わせください。